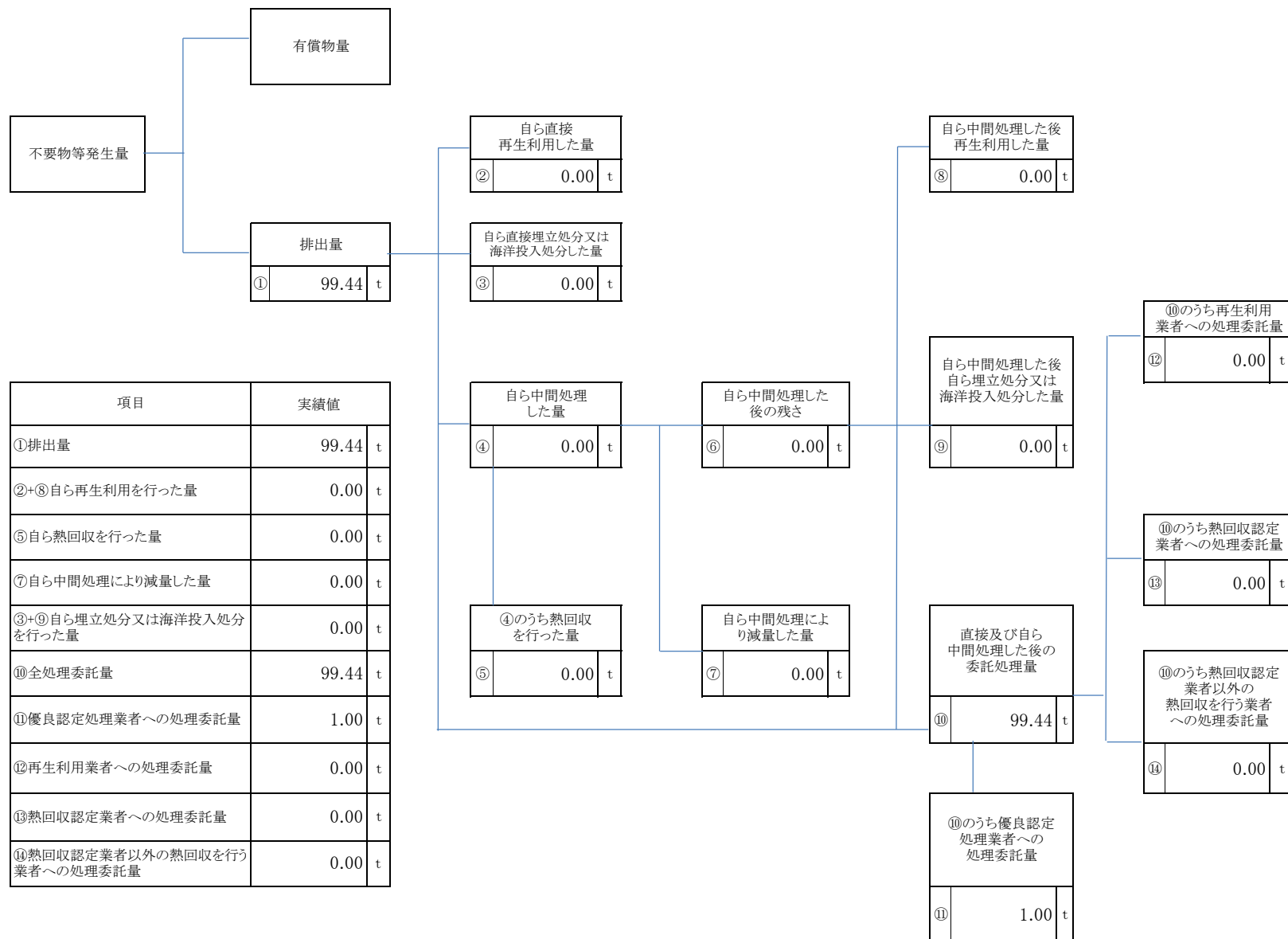


産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 7 年 6 月 20 日			
秋 田 県 知 事 殿			
提出者 住 所 宮城県仙台市青葉区片平1-2-32 氏 名 株式会社安藤・間東北支店 執行役員支店長 木下 真 電話番号 022-266-8113			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社安藤・間東北支店		
事業場の所在地	宮城県仙台市青葉区片平1-2-32		
事業の種類	総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,045 t	全処理委託量	1,045 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

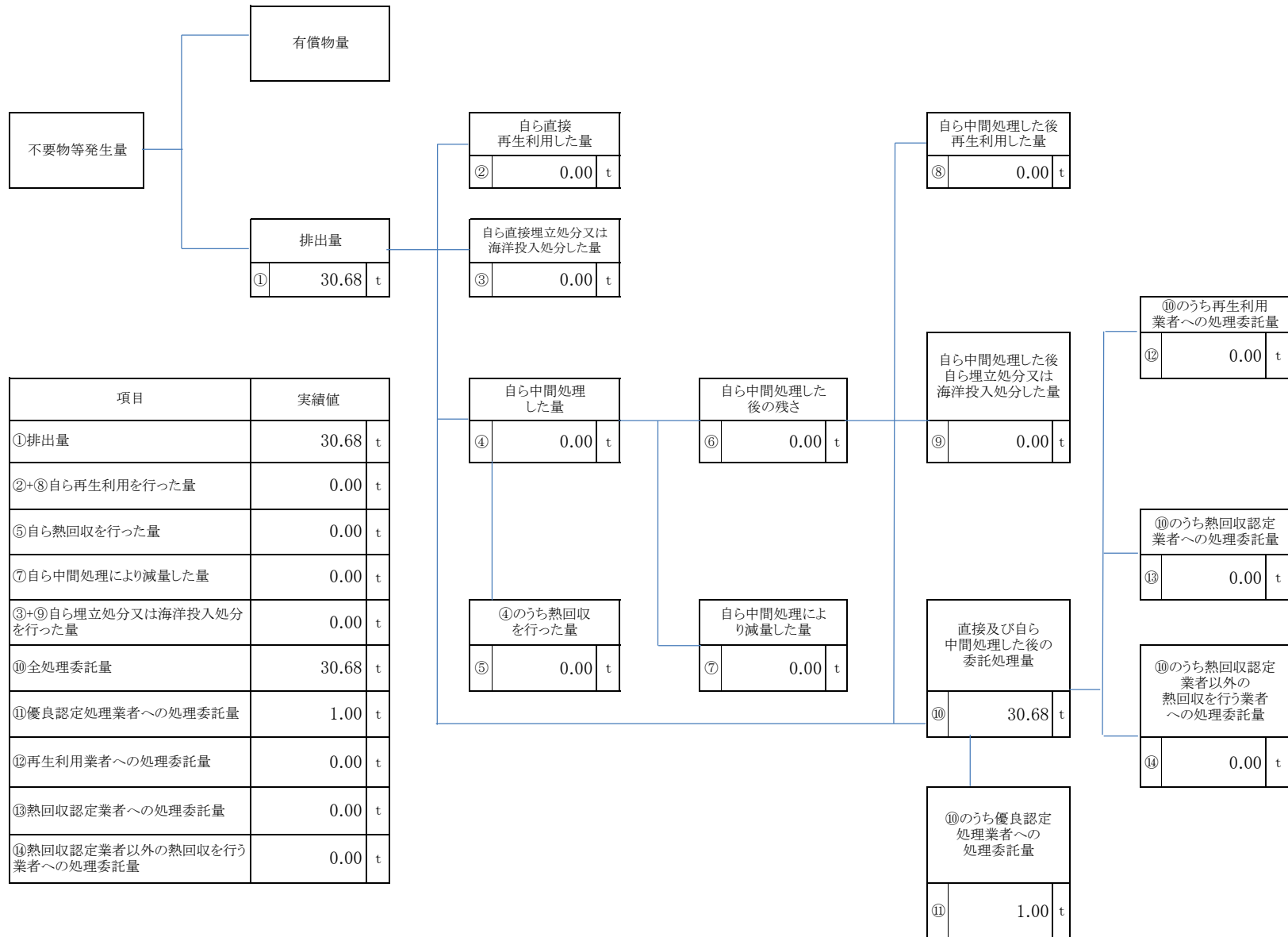
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 全体)



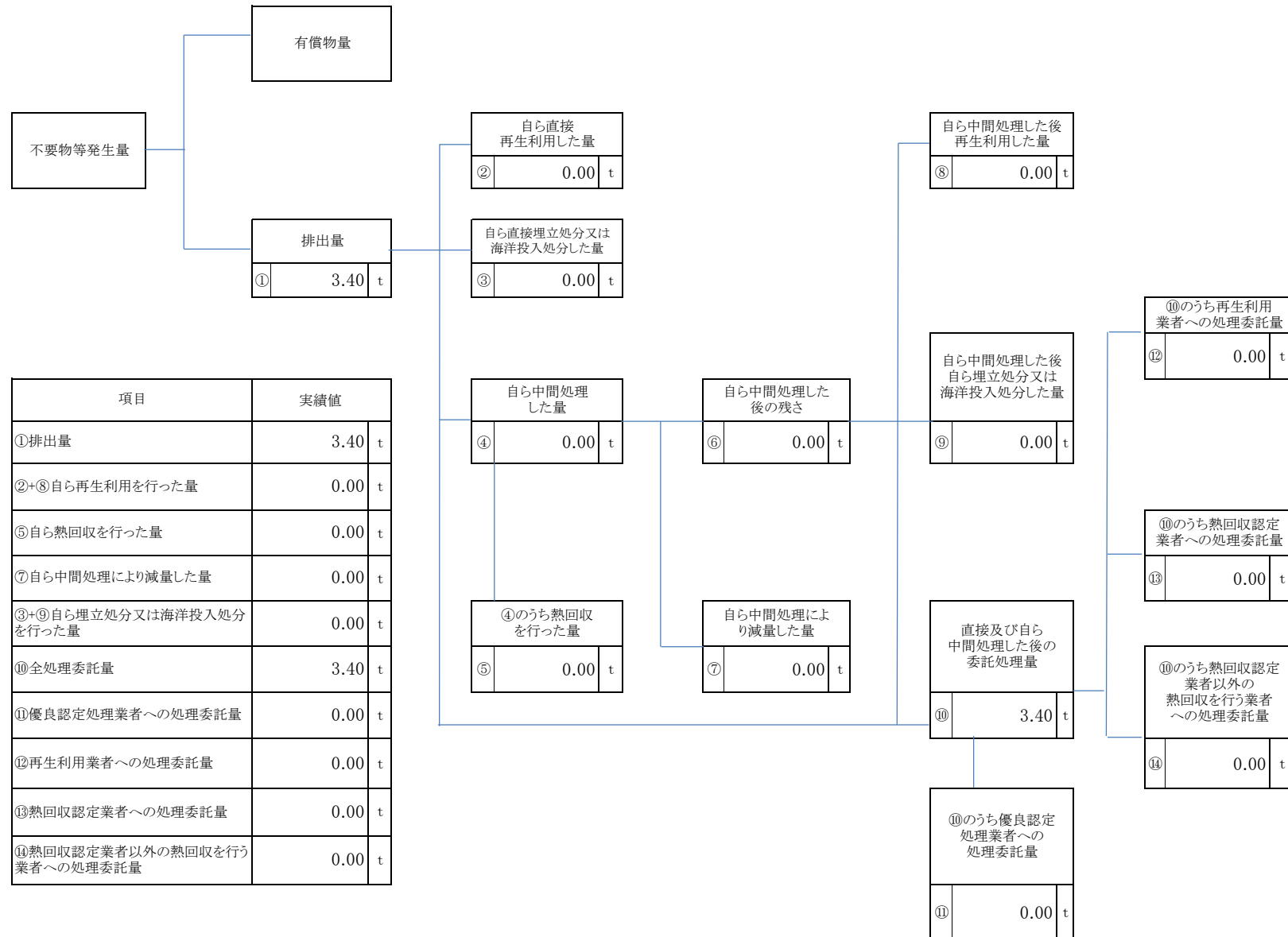
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)



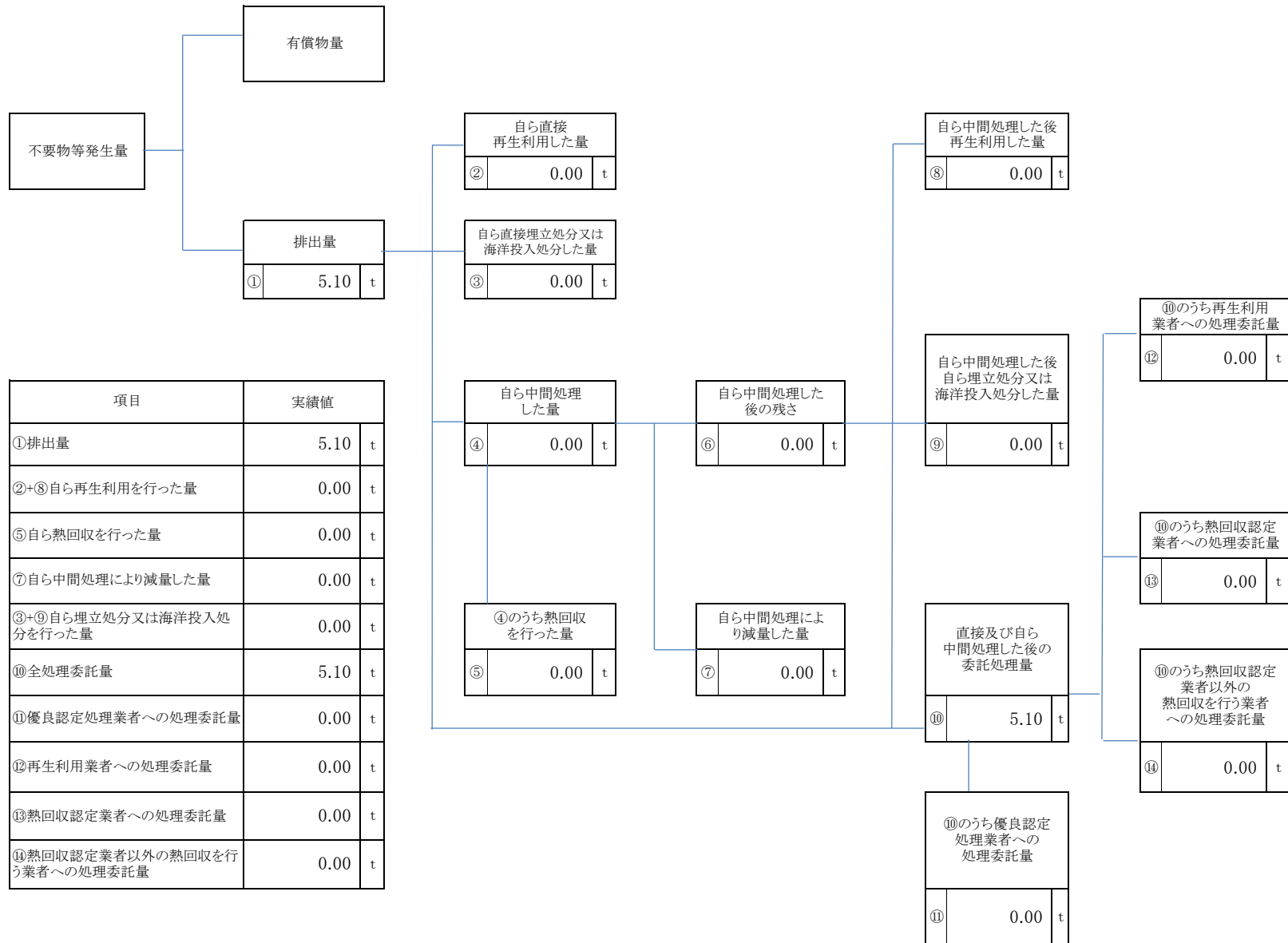
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスコンがら)



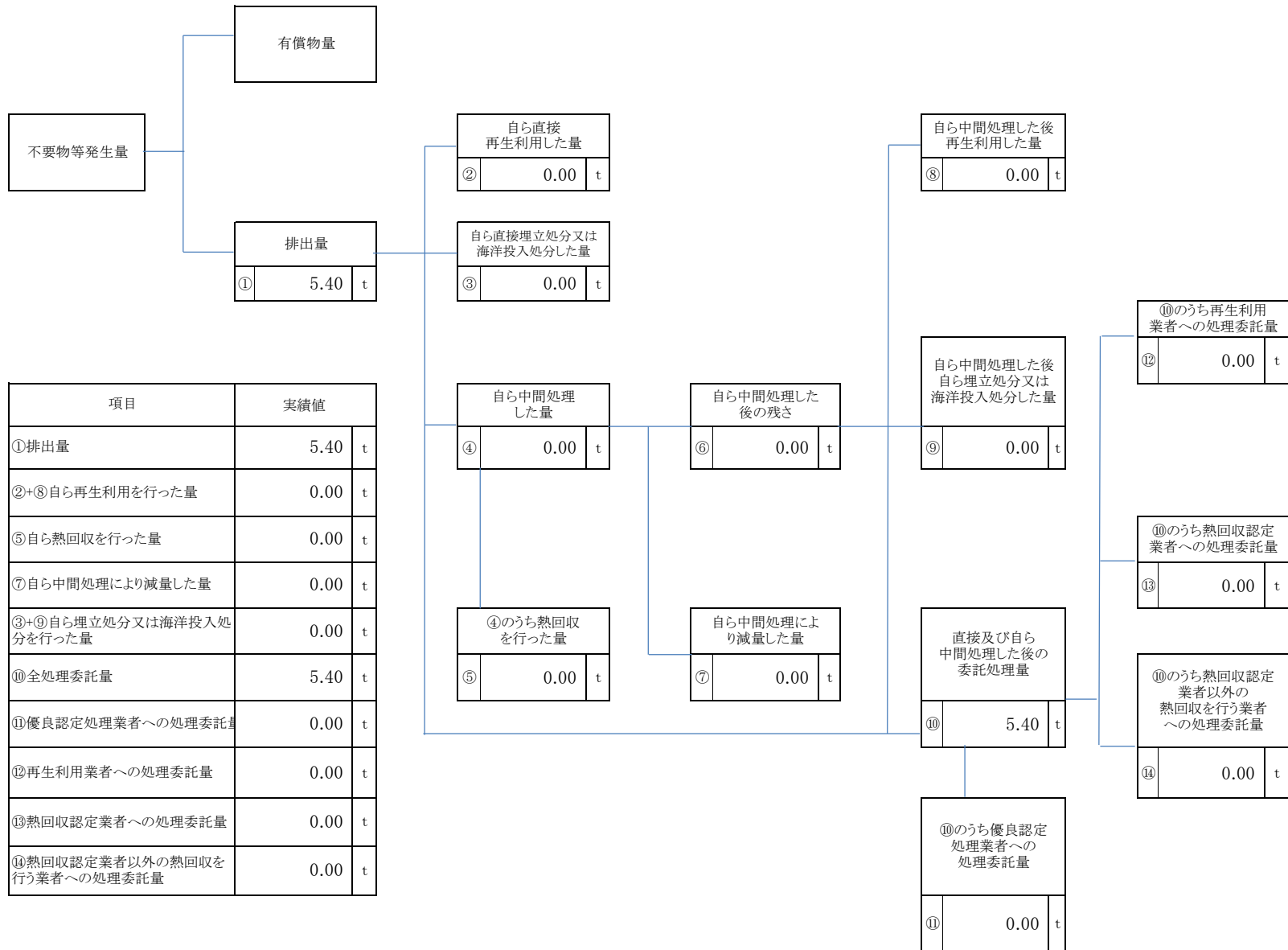
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他がれき類)



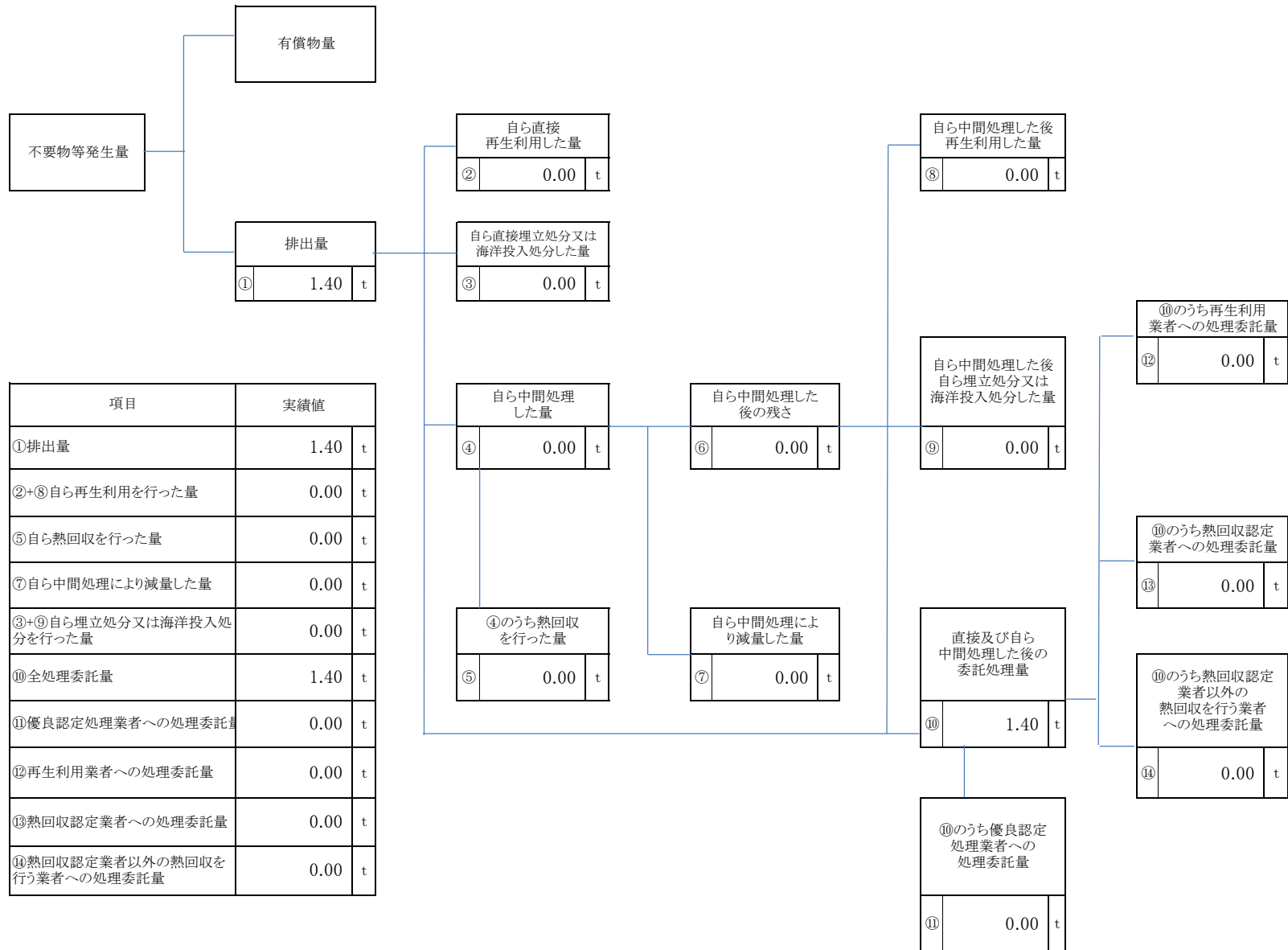
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)



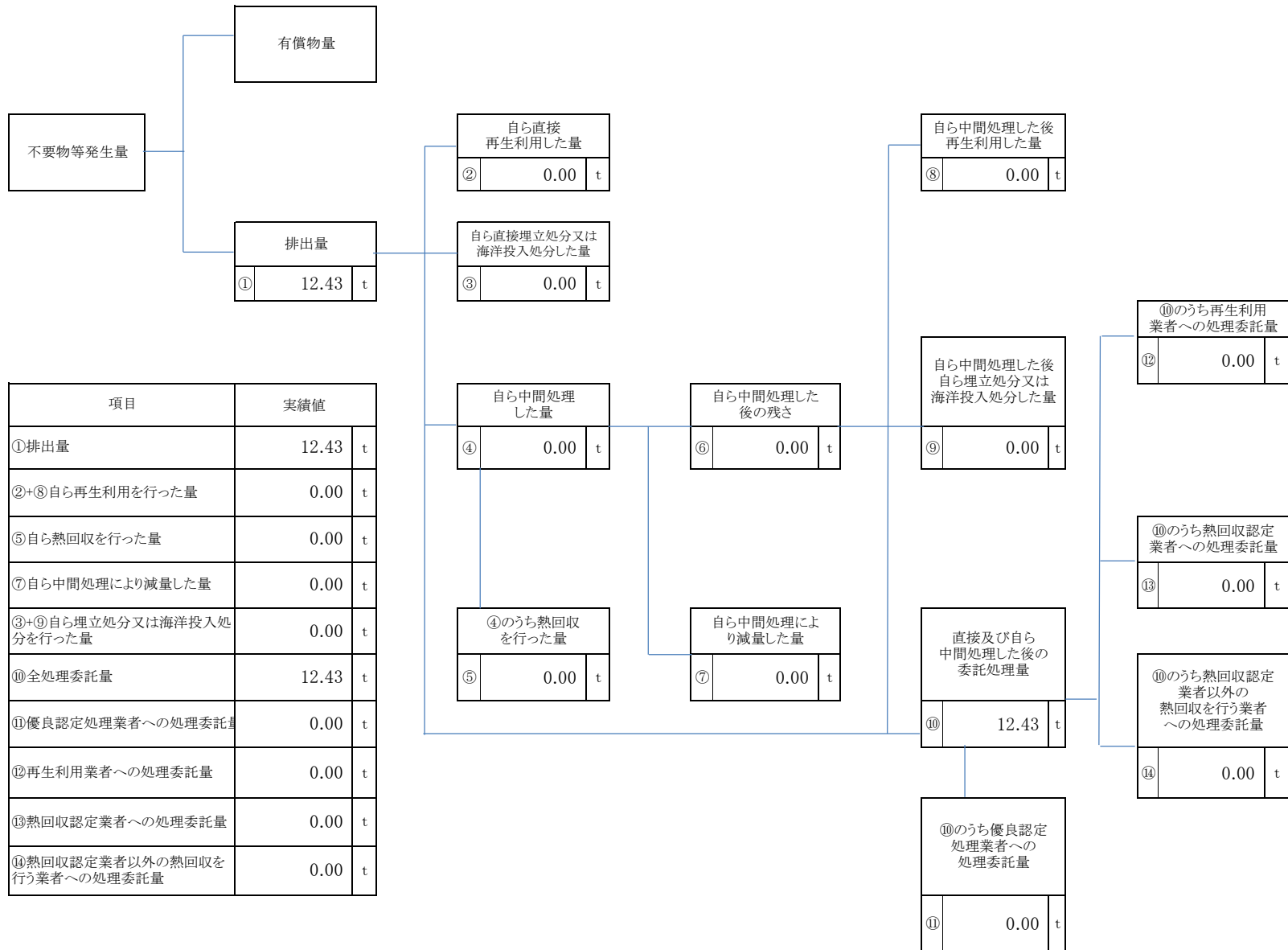
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



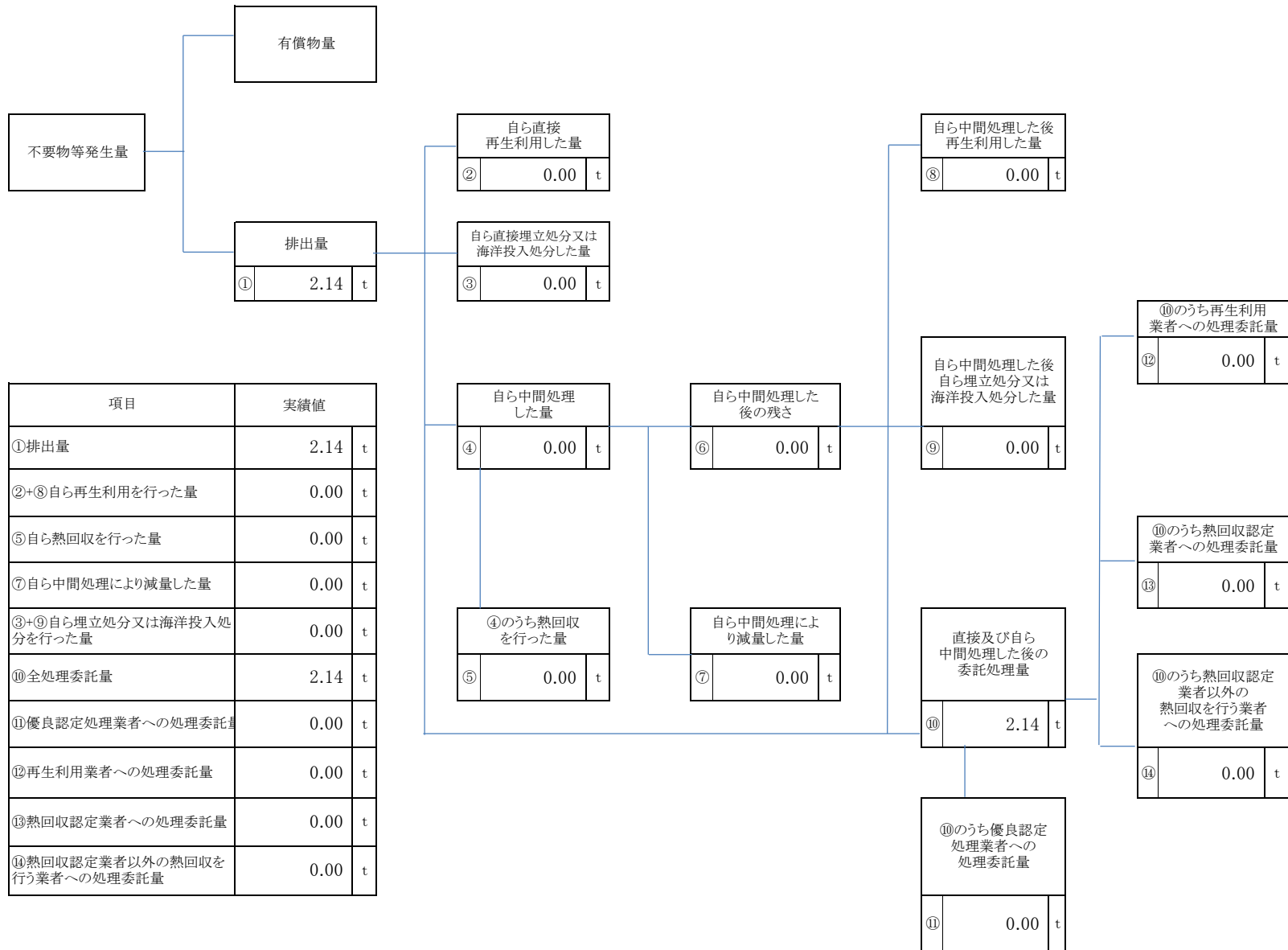
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



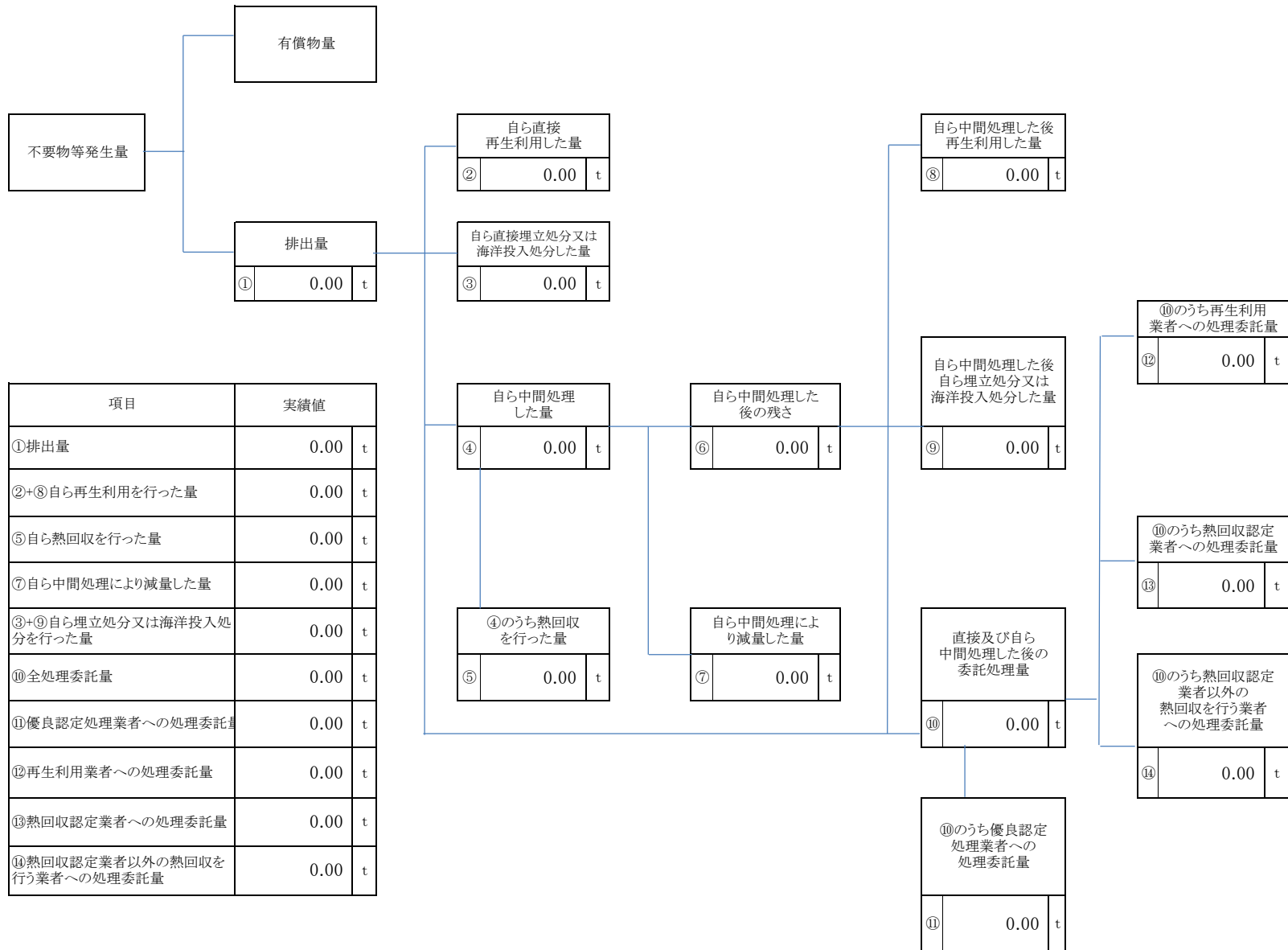
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合(安定型))



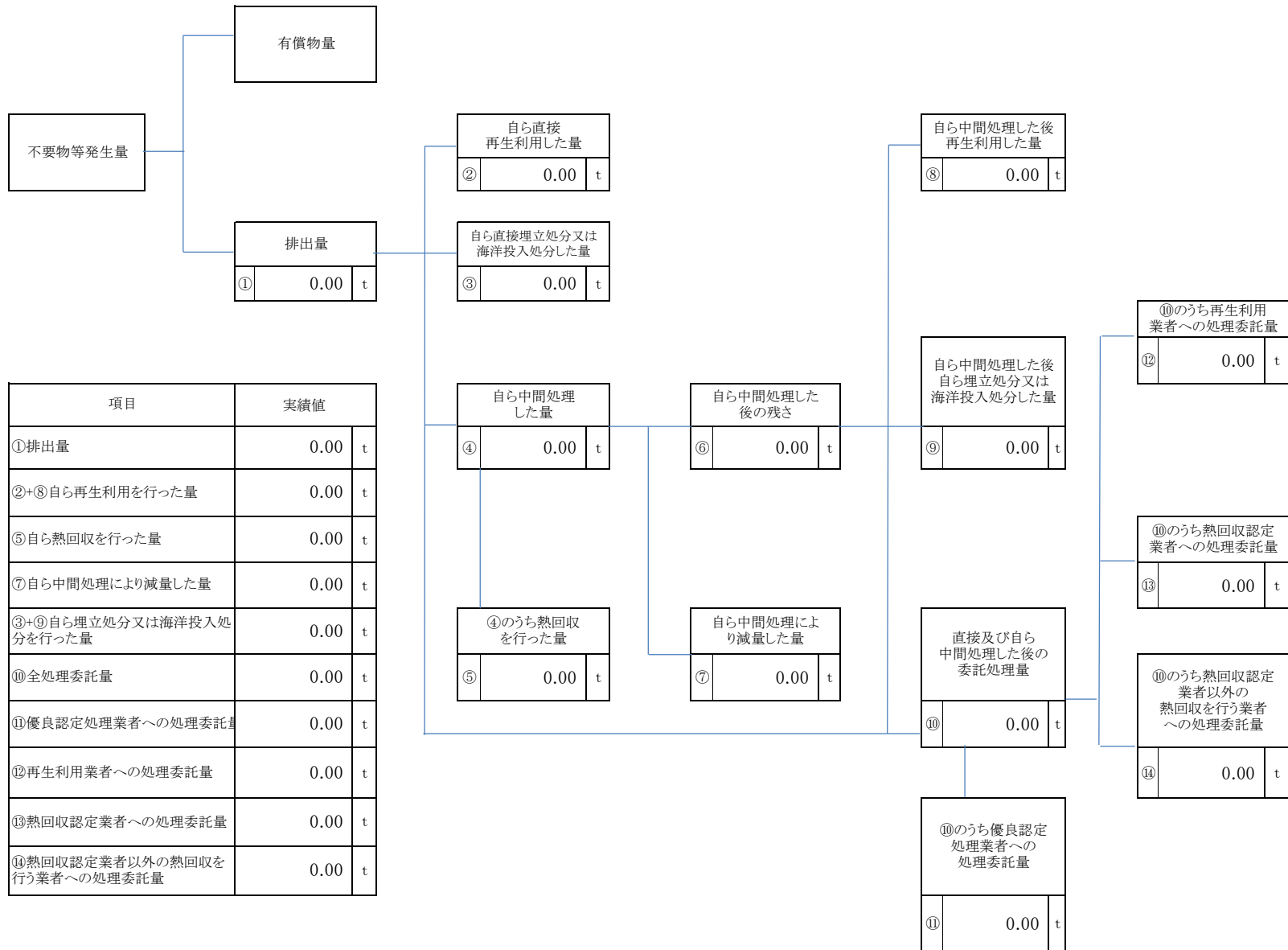
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ゴムくず)



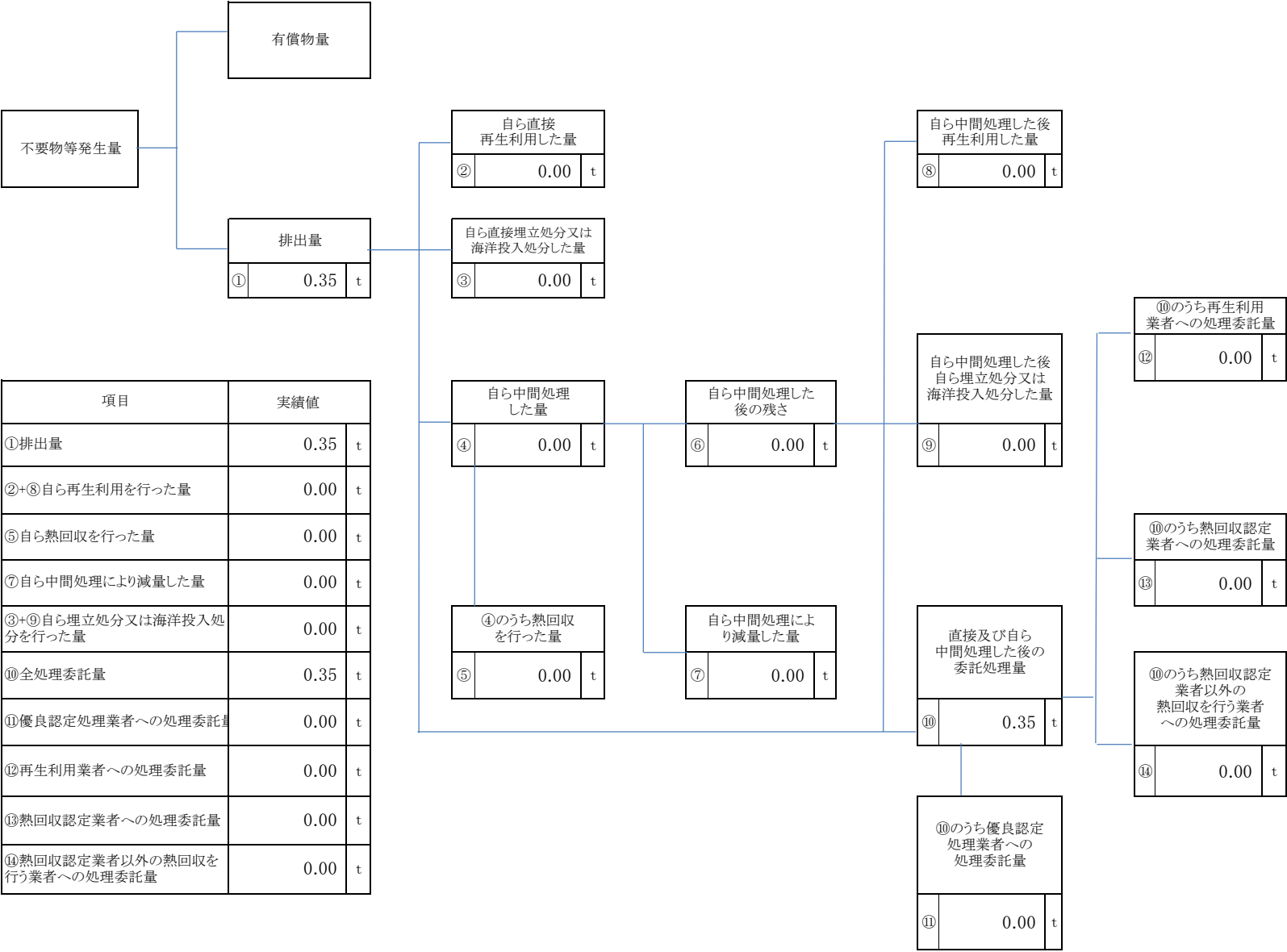
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設汚泥)



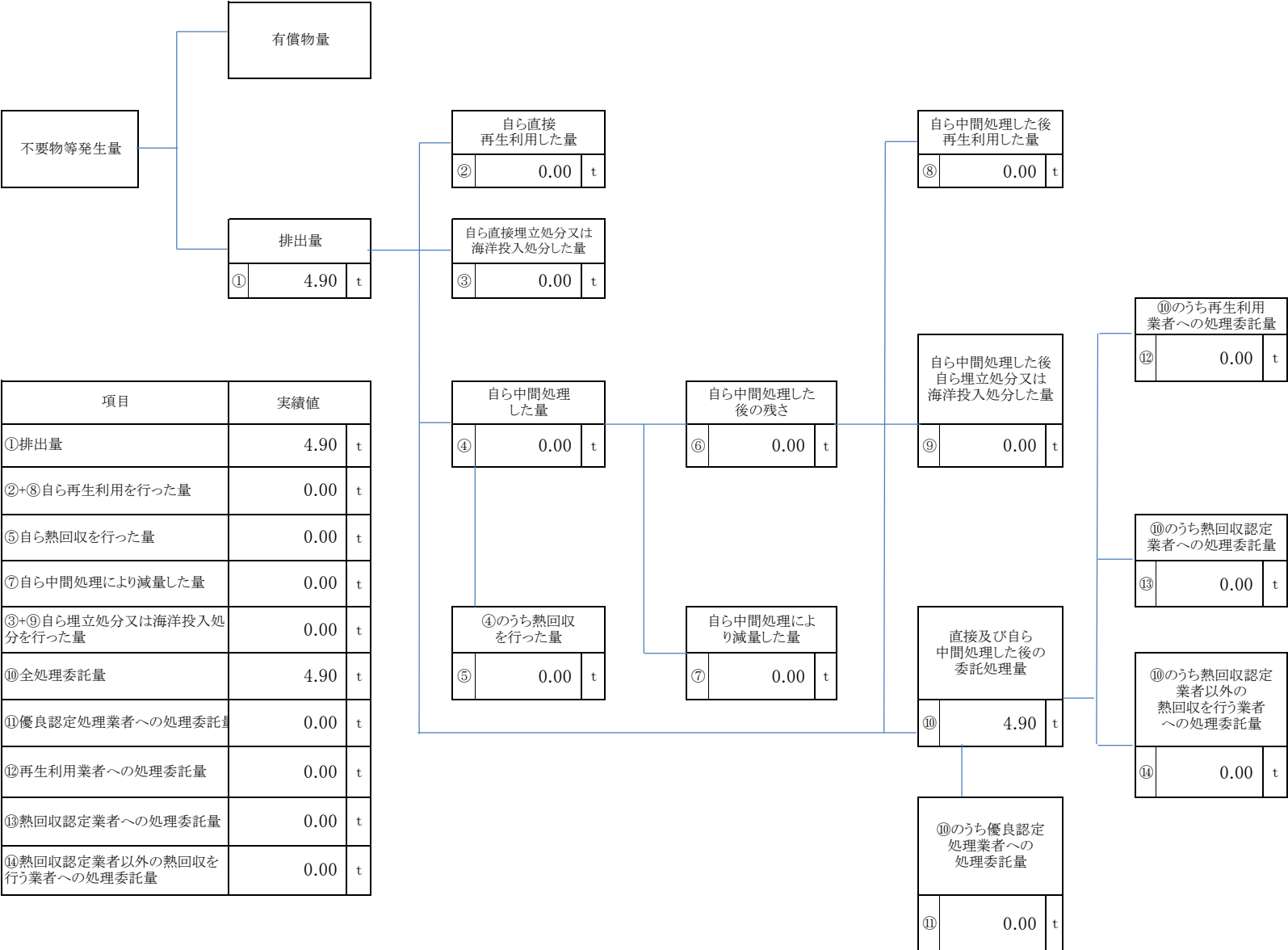
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)



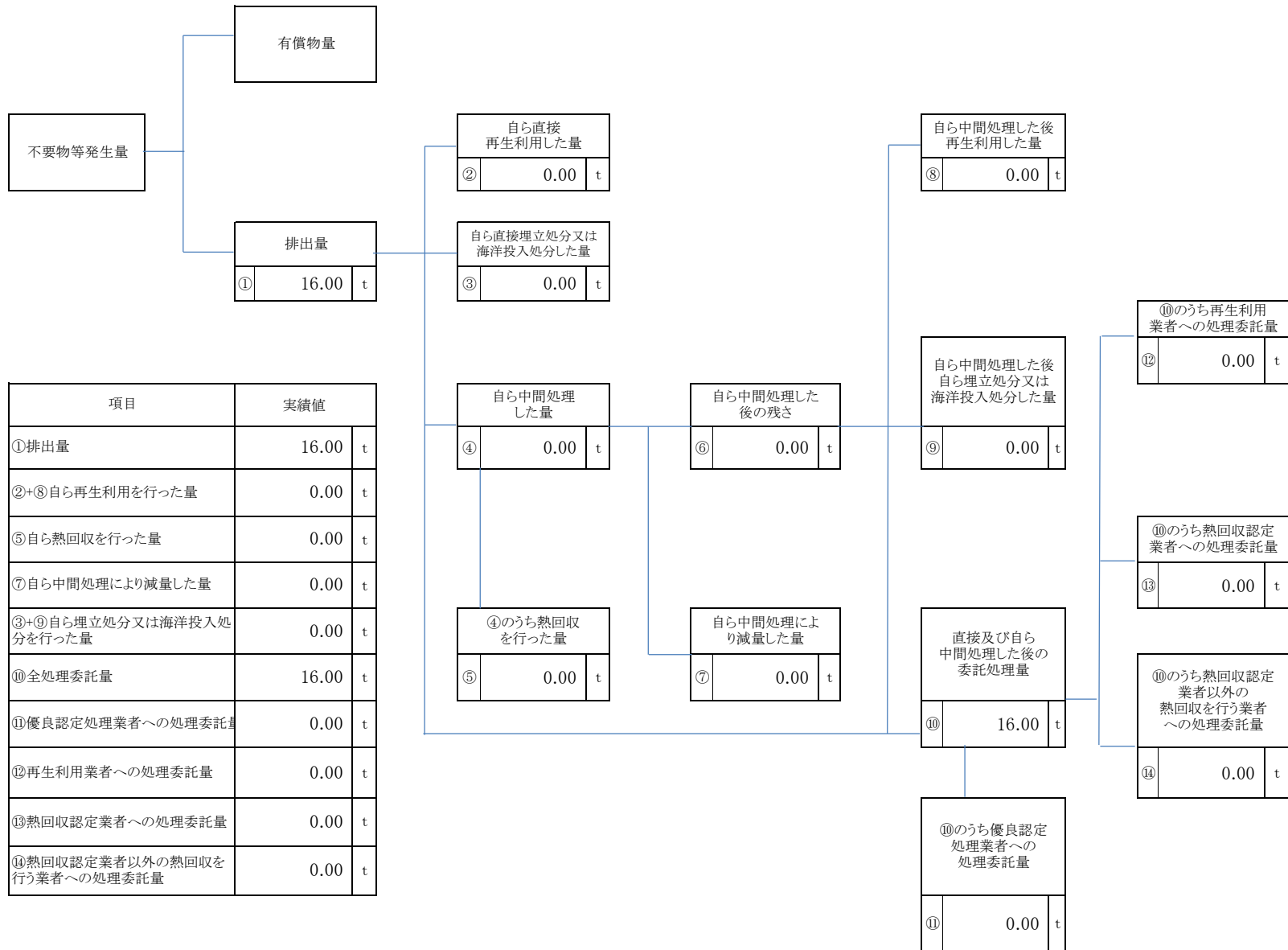
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



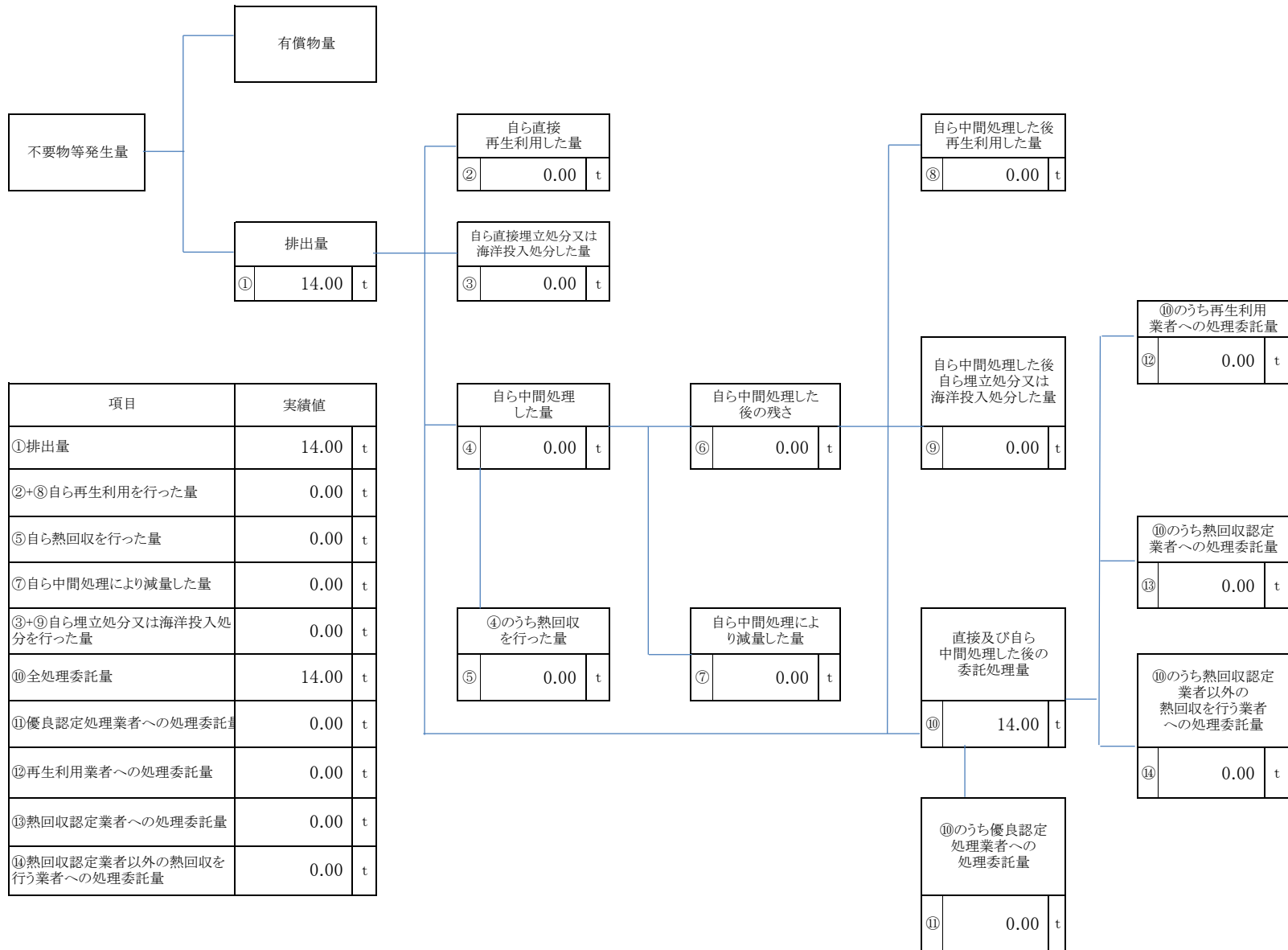
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず・木製資材)



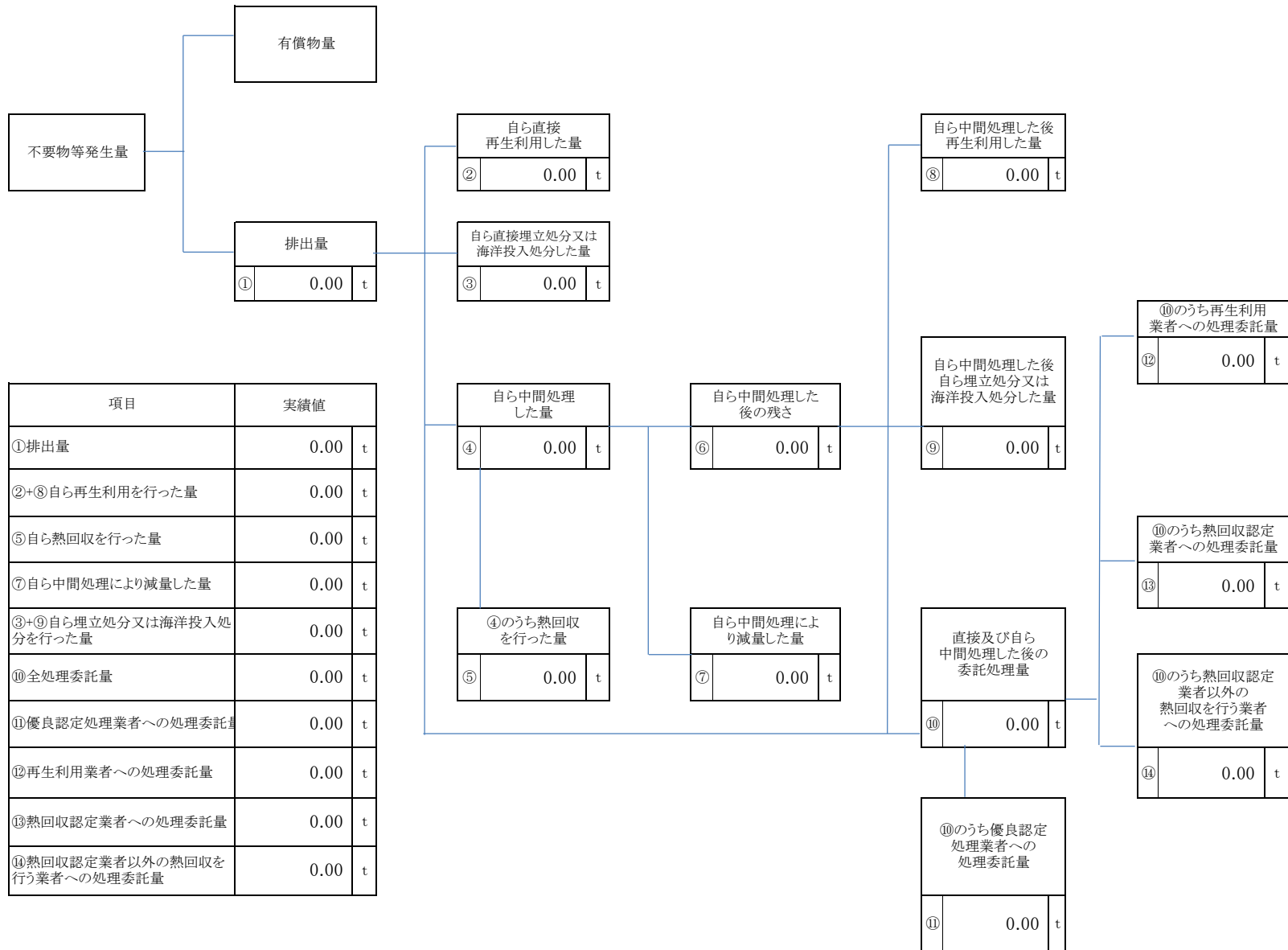
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず・伐木材他)



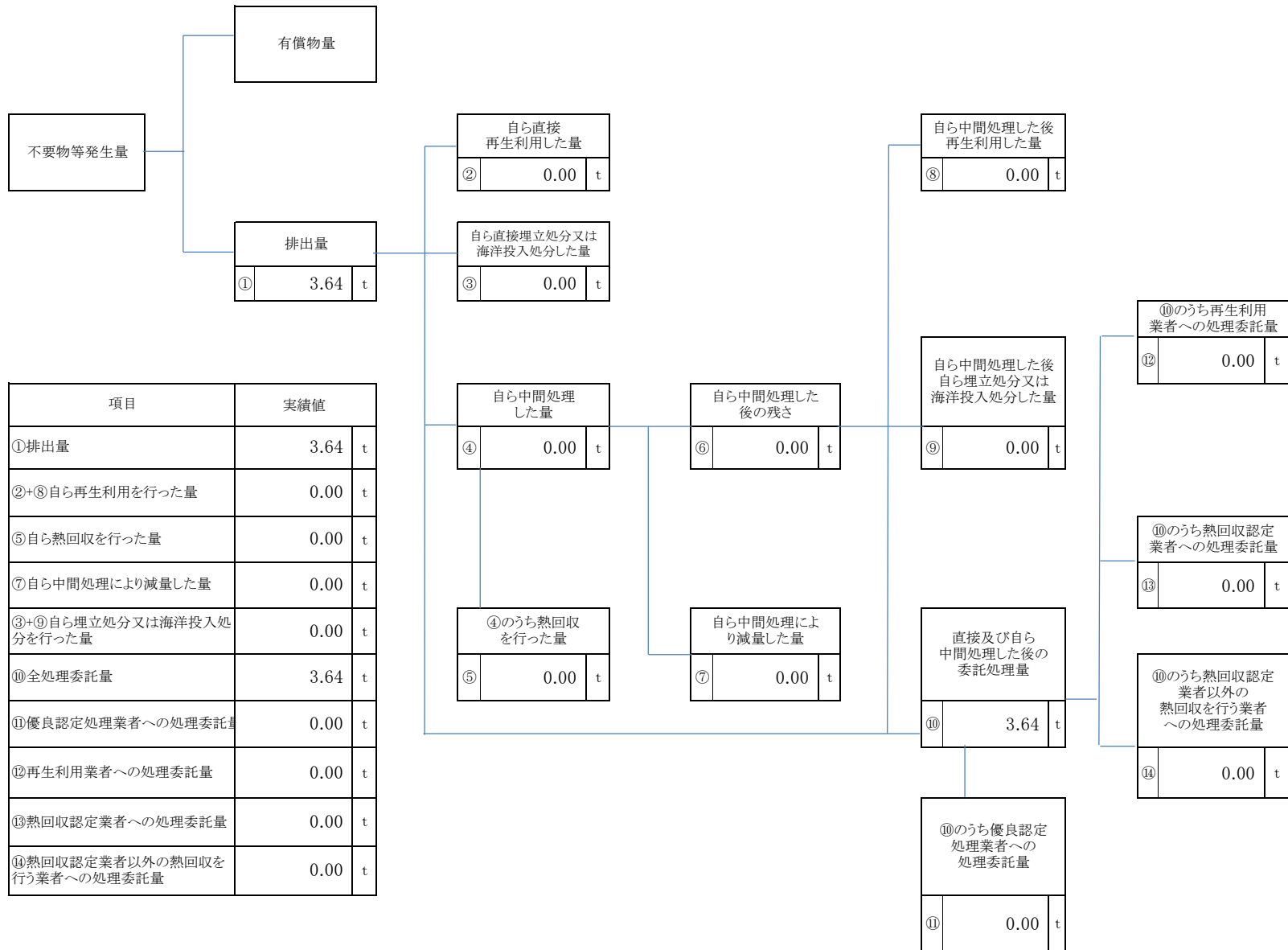
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



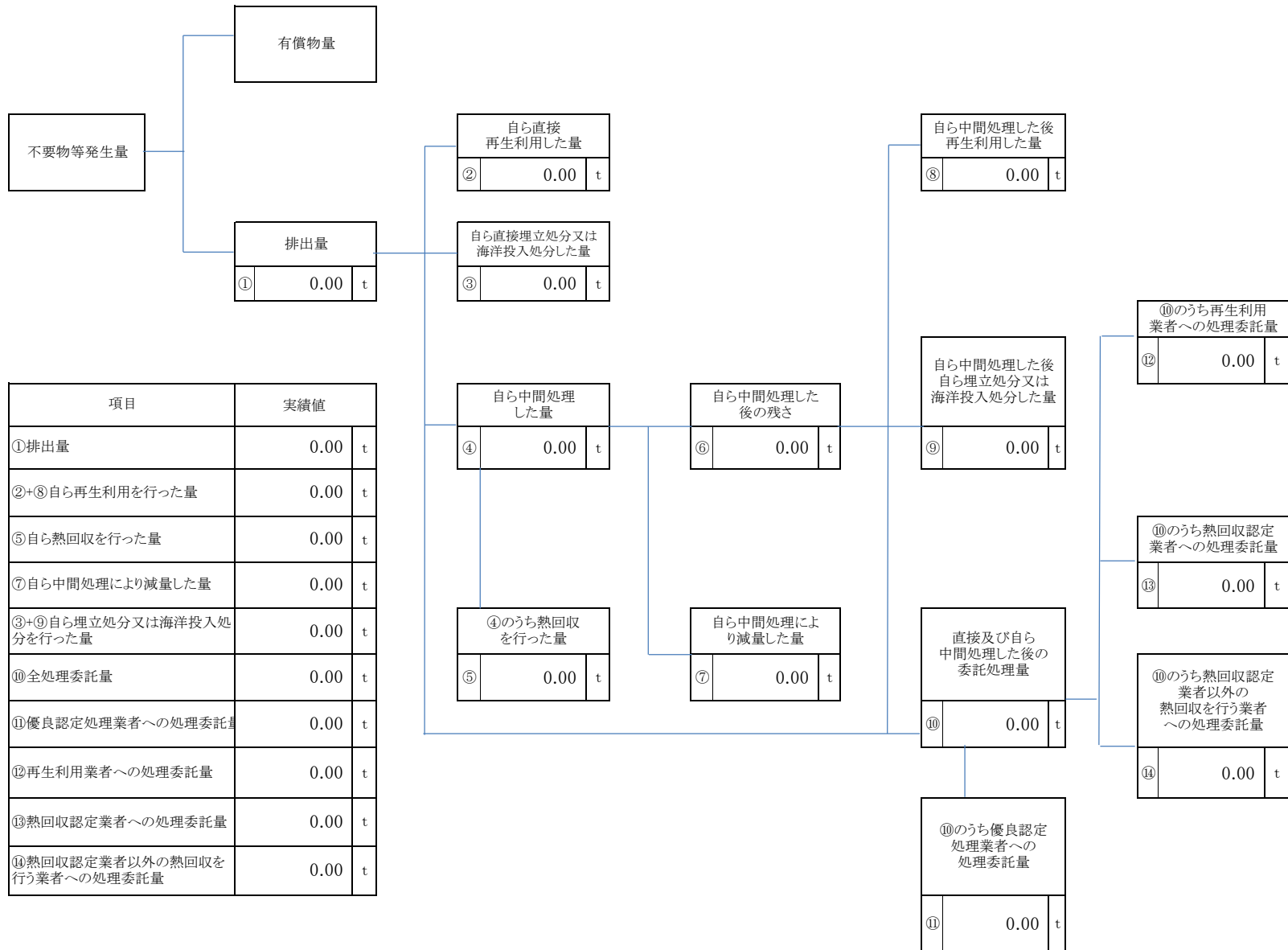
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合(管理型含む))



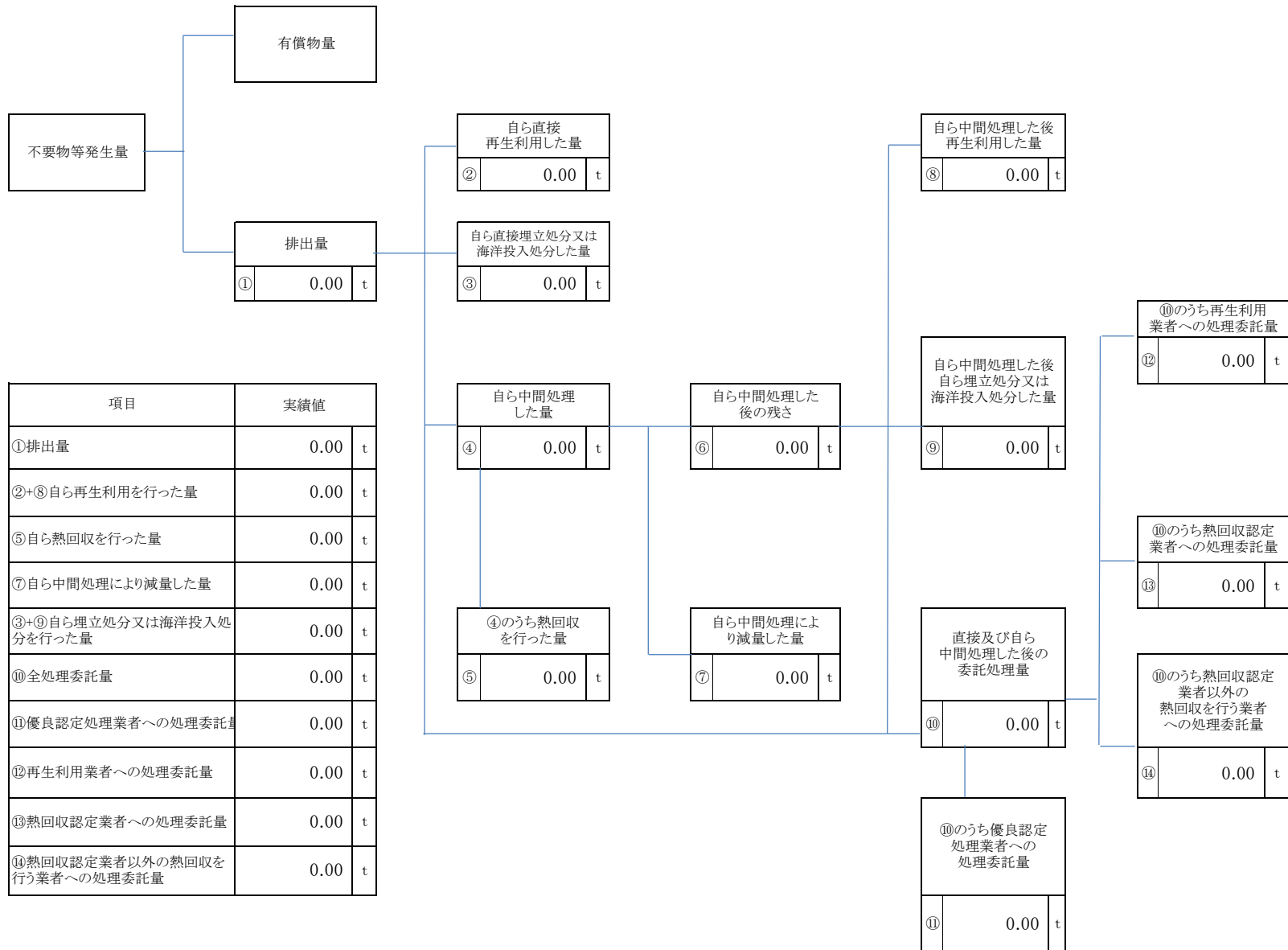
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品・電池類)



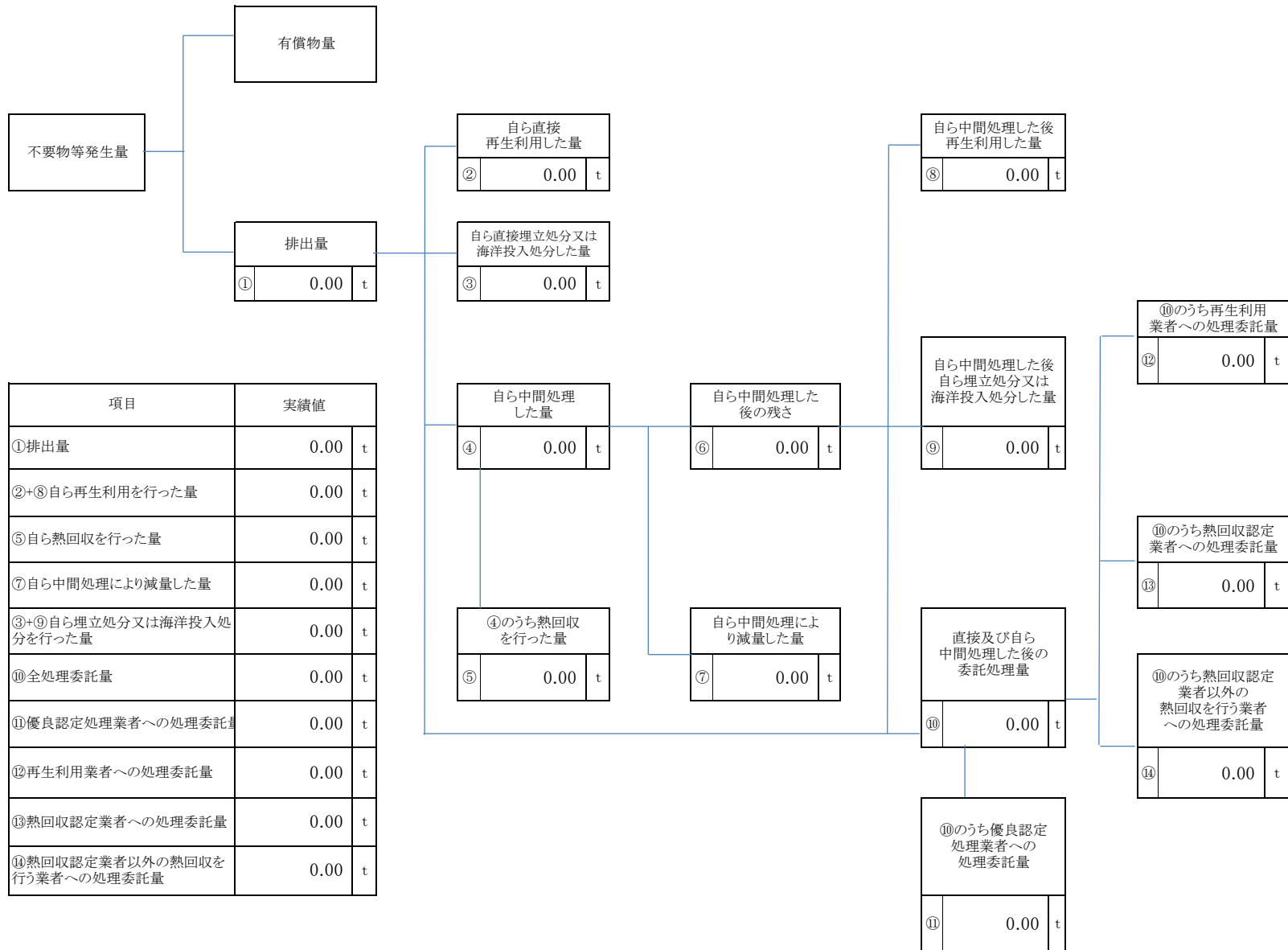
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品・蛍光灯等)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

2025年度産業廃棄物処理計画書一別紙（秋田県）

(单位 : t)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類		コンクリートがら	アスファルトがら	がれき類	ガラスくず*、コンクリートくず及び陶磁器くず*	廃プラスチック類	金属くず	建設混合廃棄物(安定型)	ゴムくず	建設汚泥	廃石膏ボード	紙くず	木くず(木製資材)	木くず(伐木材・除根材)	繊維くず	建設混合廃棄物(管理型)	水銀使用製品(電池類)	水銀使用製品(蛍光灯等)	廃油	合計
①現状	産業廃棄物の排出量 (前年度実績)	30.68	3.40	5.10	5.40	1.40	12.43	2.14	0.00	0.00	0.35	4.90	16.00	14.00	0.00	3.64	0.00	0.00	0.00	99.4
	これまでに実施した取組	資材搬入時の梱包の簡略化による廃棄物の排出抑制をしています。																		
②計画	産業廃棄物の排出量 (目標)	30.00	0.00	5.00	5.00	0.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	75.0
	今後実施する予定の取組	資材搬入時の梱包の簡略化による廃棄物の排出抑制を実施する予定です。																		

産業廃棄物の分別に関する事項

産業廃棄物の種類		コンクリートがら	アスファルトがら	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設混合廃棄物(安定型)	ゴムくず	建設汚泥	廃石膏ボード	紙くず	木くず(木製資材)	木くず(伐木材・除根材)	繊維くず	建設混合廃棄物(管理型)	水銀使用製品(電池類)	水銀使用製品(蛍光灯等)	廃油	合計
①現状	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・陶磁器くず、がれき類、建設混合廃棄物に分別し、できるだけ、再資源化に努めてきました。																		
②計画	今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後も、上記のとおり、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・陶磁器くず、がれき類、建設混合廃棄物に分別し、できるだけ、再資源化に努めている。今後は、廃プラを再資源化になる品目と埋立処理になる品目に分別するように努めていきます。																		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

産業廃棄物の種類		コンクリートがら	アスファルトがら	がれき類	ガラスくず [※] 、 コンクリートくず及び 陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設混合 廃棄物 (安定型)	ゴムくず	建設汚泥	廃石膏 ボード	紙くず	木くず(木 製資材)	木くず(伐 木材・除 根材)	繊維くず	建設混合 廃棄物 (管理型)	水銀使用 製品 (電池類)	水銀使用 製品 (蛍光灯等)	廃油	合計
①現状	自ら再生利用を行った産業 廃棄物の量 (前年度実績)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	これまでに実施した取組	自ら利用は、実施しておりません。																		
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄 物の量 (目標)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	今後実施する予定の取組	自ら利用は、実施予定がありません。																		

